



# 八中だより



『アンデスの思い出』

校長 高汐 康浩

第13号  
令和5年10月16日  
府中市立  
府中第八中学校



（在籍生徒数）一学年248名、二学年261名、三学年241名  
 全校生徒数750名  
 （学校住所・電話番号）  
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七  
 電話 ○四二二六四二八八一

★いよいよ合唱コン、大きなエールを送ります！

先日、一学年の社会科の授業にお邪魔しました。その授業で生徒たちは、インドについて調べたり、話し合いをしたりしてまいりました。ところで、八月九日に、インドのニューデリー日本人学校の校長先生と面談するためにデリーに行ってきました。日本人学校の校長先生からまず伺ったのは、その日のインドの国会で、広島と長崎の原爆による死没者の追悼（ついで）が行われたことでした。日本以外の国の国会で公式にこのような行事が行われていたことを初めて知りました。その他にインド訪問ではインドの人々は普段は「ナン」を食べないというのを知り、驚きました。まさに、「百聞は一見にしかず」ですね。

お邪魔した授業で、教科担任の宮田主幹教諭に、この後、南米についての学習をすることを伺いました。ずっと前にアルゼンチンで生活していた頃のことや、何回かアンデスの山々を訪れたときのことなどをお伝えしたいと思っています。

はじめに、アンデスの四千二百メートルを超えるヴィアドゥクト・ラ・ポルヴォーリージャ(Viaducto La Polvorilla)という高地を訪れたときのことをお話します。ヴィアドゥクトはスペイン語で高架橋という意味です。ポルヴォーリージャは粉が舞うというような意味です。直訳すると粉っぽい高架橋となりますが、確かに砂埃(すなほこり)が常に舞っているような場所でした。そしてそこにはとても高い鉄道の高架橋がありました。そこは、富士山の山頂よりはるかに高いところなんです。ふもとのサルタ(SALTA)という町から「雲行き列車(Ten a las

(4200mの高地の風景)



(Viaducto La Polvorilla)

「rubos」と呼ばれている列車に乗って少しづつ山を登ります。列車の中には、高山病予防のために酸素ボンベが積まれています。三千メートルを超える頃から乗客たちは気分が悪くなったり、眠くなったりします。そんなときに酸素ボンベの酸素を吸って徐々に身体を高地に慣らしていくのです。理由は分かりませんが、私の場合は四千メートルを超えた場所に来て、身体の変化、気分の変化は全くなく一回も酸素を吸わずに済みました。現地の方からは、低酸素の場所に慣れている身体なのではないか?などと言われてしまいました。現地では、そこに住んでいる子供たちと交流をしました。そこで驚いたことがあります。現地の住民の人々が、私たちアジアの人と同じ顔立ちなのです。後にいろいろと調べたのですが未だに理由はわかりません。

次にお伝えしたいことは、アンデスの「食」です。アンデスでは肉じゃが(肉、ジャガイモ、トマト、豆などを煮込んだ料理)や蒸したジャガイモなどのジャガイモ(Papa)の料理がよく食べられています。その他、エンパナーダ(Empanada)という肉、卵、野菜、チーズなどを包んだパンが名物です。私が特に気に入った食、べ物は「タマーレス(Tandies)」という料理です。タマーレスは、トウモロコシの粉を練ったものに肉を包んで、さらにトウモロコシの皮で包んで蒸した料理です。日本のちまみに似た食べ物です。そして、食事と一緒に飲むのは、黒トウモロコシのジュースです。黒い液体でおいしそうには見えませんが、甘くて風味がよい、おいしいジュースでした。

小学生の頃の私の趣味は地図帳を見ることでした。地図帳を眺めながら、その土地への興味や関心を高めていました。大人になってからは実際に訪ねることですらに理解を深めました。これから機会を見つけて社会科の学習に役立つ内容を発信していきたいと思えます。



# 活躍する八中生

【敬称略】

## シリーズ

### ふるさと府中を学ぶ



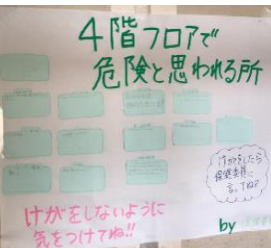
### 秋雨(あきさめ)の時のケガに注意!

梅雨(つゆ)や秋雨の時季には室内でのケガが多くなる傾向があることは周知のとおりです。滑ったり、転んだり、出合頭(であいがしら)にぶつかったりしないように注意しましょう。保健委員のみなさんが学校の危険箇所を抽出してポスターにしました。生徒の皆さんは必ずポスターの内容を確認しましょう。

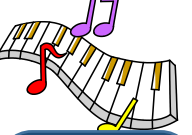
先日の九月二十七日、二十八日に「秋季祭、くり祭」では囃子(はやし)でとても盛り上がりました。武蔵府中郷土かるたの「ふ」は府中囃子の札です。府中囃子は目黒流と船橋流に大別されます。囃子は、笛、太鼓、小太鼓一対、すり鐘、拍子木(ひょうしぎ)からなり、踊りには、天狐、獅子、おかめ、ひょっとこなどの舞があります。リズムカルで親しみやすい囃子です。祭のときに楽しみましょう。



『武蔵府中郷土かるた』の画像の使用については、府中市ふるさと文化財課の許可をいただいています。



★バドミントン部★ 令和五年度 調布・狛江・府中地区 バドミントン新人大会 男子団体 第三位 末田 理哲 髭右近 拓真 杉本 礼 千葉 龍斗 川合 広晃 濱崎 昂大 清家 共造	★第七十一回統計グラフコンクール 美術部★ 佳作『府中市人口増加のナゾ』 尾崎 実梨 齊藤 なつ美 三浦 彩夢	★卓球部★ 第四十五回府中市公私中学校卓球大会 二年男子 準優勝 浅倉 陽和太 松平 昌大 和田 塔矢 第三三位 嶺川 英志 石川 蓮真 岡部 翔之介 二年女子 第三位 西野 実紗希 小山 花帆 飯田 果凛 一年男子 準優勝 寺田 透吾 牛久保 湊士 大野 惇也 一年女子 優勝 細井 優莉 畔上 夏実 藤本 ゆずな 準優勝 利根川 花奈 大町 夏花 村上 佳澄
--	---	--



合唱コンクールを明日に控え、生徒たちは、着々と準備や練習を進めてきました。校舎内にはすてきな歌声が響き渡っています。PTAの皆さんには合唱コンクール運営にご協力をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【参考】

《都立高校の推薦入試の面接の質問の一部を紹介します》

- 都立調布南高等学校  
「中学校でリーダーの経験があるようですが、リーダーとして主になどのような仕事をしてきましたか？」
- リーダーの仕事をする中で、どのような失敗をしましたか？」
- 都立芦花高等学校  
「不得意教科を克服するために、どのようなことをしてきましたか？」
- 「克服をする取組をとおして何を身に付けることができましたか？」
- 都立調布北高等学校  
「合唱コンクール実行委員として、具体的にどのような取組をしましたか？」
- 「あなたのクラスの合唱は、どう評価されましたか？」



「「がくちか」とコンピテンシー」

先日、第三学年では、都立第一商業高等学校の平野篤士校長先生を講師にお招きして、『面接講座』を実施しました。三年生にとって、面接の意義などを学ぶ大変貴重な機会になりました。

さて、『がくちか』という言葉聞いたことはありますか。『がくちか』とは就職活動をしている大学生が使う言葉だそうです。入社試験で特に重要視されているのは「学(がく)生時代に特に力(ちか)を注いだこと」ということで、このことを略したもののなのです。入社試験の面接では、学生時代に力を注いだことを中心に重ねて質問されるのです。

四月の全校朝礼で話題にした『コンピテンシー』という言葉覚えていませんか。これから進路実現に向けての取組の真っ最中にある三年生には、この機会に改めて『コンピテンシー』について確認してほしいとおもいます。大学生が受ける入社試験と同じく高校入試の面接では、「中学校で一番力を注いだのはどんな活動ですか?」「〇〇委員をしていたのですが、いちばん成果を残したのはどんなことですか?」など、その人が特に頑張ったことについて質問され、答えたことを掘り下げるように、次から次へと関連した質問が行われます。「コンピテンシー」を重要視した面接では「ごまかし」は効かないのです。(学校だより2号に詳しく記載してありますのでご覧ください)